

令和5年度「ちっちゃい探検隊（特別企画）」実施報告書

I 事業の概要

1. 期日 令和5年9月23日(土)～24日(日) | 泊2日

2. ねらい

低年齢の子どもたちが親元を離れて宿泊体験することで、次のような力をつける。

- ・親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
- ・班の中で自分の意見を言えたり、友だちの意見を聞いたりすることができる。
- ・友だちと力を合わせることを楽しいと感じることができる。

3. 参加対象 小学校1～3年生

4. 応募者 76名

5. 参加者 35名 (大学生ボランティア 12名)

6. 参加費 3,200円

7. 日程

9月23日(土)		9月24日(日)	
13:00	受付	6:30	起床
13:30	出会のつどい	7:00	朝のつどい
14:00	楽しいゲームで仲良くなろう!(レクリエーション)	7:30	掃除
15:00	色の源を取り戻せ! ~七色の戦士たち~ (オリエンテーリング)	8:00	朝食
16:45	オリエンテーション・荷物移動	9:00	荷物整理・退所点検
17:30	夕食	9:20	伝説の言葉でやっつける!!(レクリエーション)
19:00	輝け!!レンジャーペンダントで大変身(クラフト)	10:00	わくわく彩りパーティー(ピザ作り)
20:00	入浴	12:30	昼食
21:30	就寝	13:00	片付け
		14:00	感想記入
		14:30	別れのつどい・解散

II 実施状況

■1日目の活動の様子<9月23日(土)天候 晴れ>

学生サポーターとの打ち合わせをしっかりと確保するため、午後からの開催となった。緊張した面持ちで集まった子どもたちを学生サポーターが優しく迎え入れてくれた。交流レクで参加者同士の距離がぐっと縮まった後、赤レンジャーの登場。ブラックジョッカーから赤レンジャー以外のレンジャーの色を取り戻すため、オリエンテー



リングに出発。色の源を集めるため、どの班の子も力を合わせてミッションに取り組んだ。

夕食後は虹レンジャーになるための証であるペンダント作り。学生サポーターの声掛けにより、個性豊かなペンダントが完成した。明日は、色の源とペンダントを使って、ブラックジョッカーから奪われた色を取り戻すことを確認して1日目を終えた。

■2日目の活動の様子<9月24日(日)天候 晴れ>

2日目の朝、体調不良者はなく全員元気一杯でスタートした。朝食後は、色の源とペンダントを使って、まずは4人のレンジャーの色を取り戻していく。レンジャーが次々と色を取り戻す。5人のレンジャーがそろって、もう一度、ブラックジョッカーとの戦い。子どもたちもペンダントを使って応援を送り、見事にブラックジョッカーをやっつけることができた。協力してくれたお礼に、皆でピザ作り。粉を練るところからはじめ、班ごとに協力しておいしいピザを焼き上げた。熱々のピザを皆が満足そうに食べていた。

別れのつどいでは、各班の代表者と学生サポーターの代表者が感想を発表した。職員と学生サポーターで参加者や保護者の方を見送り、あっという間に1泊2日の日程を無事に終えることができた。

総 括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ 夜、みんなとお風呂に入ったり、寝たりするのも楽しかったです。また泊まりたいです。
- ・ 知らない人が多かったけど、仲良く協力して過ごせました。最初は緊張したけど、赤レンジャーやブラックジョッカー、大学生のお兄さんがいたのですぐに慣れました。
- ・ 私はペンダント作りが一番楽しかったです。ペンダントに虹の絵を描きました。

2. 成 果

- ・ 開始時間を午後からにすることで、午前中に学生とストーリーや配慮児童の打合せの時間を十分に確保することができた。
- ・ 学生の負担を減らすため、レンジャー役の出番を2日目のみにし、初日は職員でストーリーを進めていくことができた。児童にも概ね好評であった。

3. 課 題

- ・ 簡単なレクや朝の体操を行うなど、レンジャー役以外の学生サポーターにも、子どもの前に出る場面を作ることができれば良かった。
- ・ 保護者と離れにくい児童に対して、学生サポーターが粘り強く対応し、途中から一緒に活動を行うことができた。反面、その間、グループ内の他の児童の対応が不十分な面があった。今後も可能な限りより多くの学生サポーターの参加が得られるよう工夫していきたい。

